

Cyber Portの更なる利便性向上のため、下記の通りColins（※次頁の概要参照）との連携による機能改善を行います。以下は2022年3月14日(月)にリリースされます。

① Cyber PortからColinsへのSSO（シングルサインオン）が実現されるようになります。

No	機能	変更内容
1	ColinsメニューへのSSO（シングルサインオン）	Cyber Portにサインインした後にColinsへのリンクをクリックすると、再度Colinsへのサインイン操作をすることなくColinsへログインできるようになります。これにより、Cyber Portの利用者様は別途ColinsのID登録申請をすることなく、Colinsの機能を利用することができます。
2	帳票画面とColins「CY搬出可否情報」画面との連携	Cyber Portの帳票編集画面より、ColinsのCY搬出可否情報の参照画面を直接開くことができます。 Cyber Portの帳票画面上に配置されたボタンをクリックすると、Cyber Portの帳票項目の値を条件に抽出されたコンテナについてColinsで保持するCY搬出可否情報が参照できます。

② Colinsが保持する「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」がCyber Portに連携されるようになり、Cyber Portの帳票データ作成に活用できるようになります。

No	対応機能	変更内容
1	帳票GUIでの入力補助	GUIでの帳票新規作成時、帳票項目に入力された値からColins連携 データを取得し、一部項目の値が自動で入力されます。
		GUIでの帳票編集時、Colins連携データのうちコンテナ単位の情報を子画面で参照して貼り付けることができるようになります。
2	取引内データの自動更新	Colinsからの連携データが更新されたタイミングで、取引内の帳票間で共通となる一部項目を自動更新することができるようになります。 自動更新の可否は取引ごとに設定可能で、当該取引に参加しているいずれの組織でも変更可能です。
3	連携データ取得APIの提供	Colinsから連携された「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」を構造化データとして取得するAPIを提供いたします。

【参考】Colinsの概要

- コンテナ物流情報サービス (Colins※) は、ターミナルオペレーター、荷主、海貨事業者、運送事業者等の関係事業者間で、一元的にコンテナ物流情報を共有化するための会員登録制のウェブサイト型の情報システム。
- 港湾物流情報化推進のためのモデル事業として国土交通省港湾局がシステムを開発及び運営（2010年4月からサービス開始）。
- 全国の主要な港湾に係る必要な情報を多様な関係者が一元的・リアルタイムに共有することにより、情報が可視化され物流業務の効率化、高度化に資する。



○混雑状況カメラ画像
 港頭地区に設置したウェブカメラ画像をリアルタイムに提供。

○ゲートオープン時間情報
 ターミナルオープン時間などの各ターミナルのお知らせ掲示板。

○搬出可否情報
 各ターミナルのシステムから提供される輸入コンテナ搬出可否情報を表示。

○船舶動静情報
 各ターミナル、港湾管理者、AISから提供される船舶動静情報を表示。

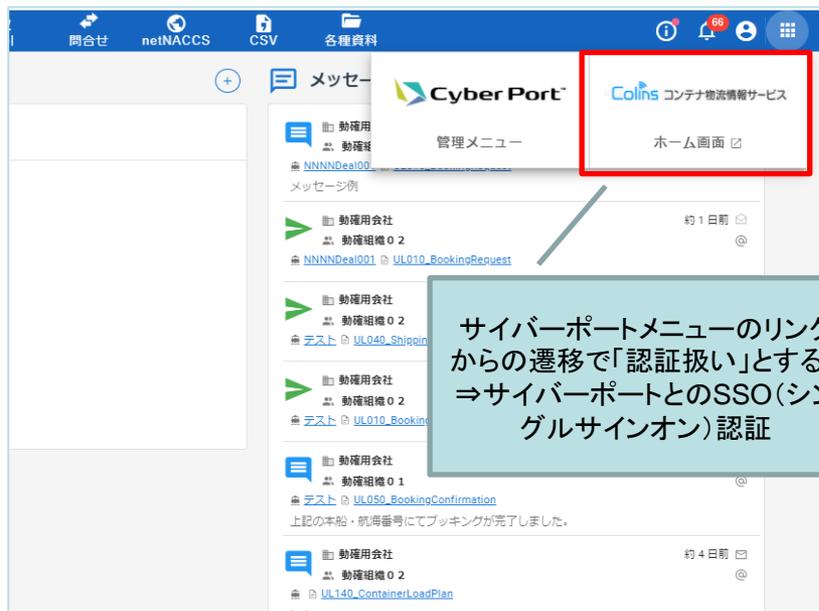
- 情報を一元的に共有することによる物流業務の円滑化**
 輸入コンテナの搬出可否情報、船舶動静情報等、これまで各港や関係者毎に分散していた情報を集約し、関係事業者の情報共有が容易になることから、情報伝達上のトラブルが減少し、コンテナ物流のスムーズな流れを実現することが可能となる。
- 業務の負担を大幅に軽減**
 目的の貨物の必要な情報がいつでも入手可能となり、コンテナターミナルへの問い合わせや確認が不要となることから、これまで負担のかかっていた問い合わせ業務などが大幅に減少し、業務効率の向上が見込まれる。
- 環境に優しくムダの少ない輸送**
 提供される様々な情報で、ターミナルや貨物の現在の状況を直接確認できることから、陸運事業者は混雑を回避し、待機時間の削減等が可能となり、周辺の道路の渋滞の緩和や環境負荷の低減が期待できる。

① Cyber PortからColinsへの SSO(シングルサインオン)の 実現について

①-1. ColinsメニューへのSSO(シングルサインオン)

サイバーポート利用者であればColinsのWebサイトが利用可能となります。
サイバーポートのヘッダメニューのリンクをクリックすることで、別途サインイン操作をする必要なくColinsが利用できます。

サイバーポート



Colins



①-2. 帳票画面とColins「CY搬出可否情報」画面との連携

コンテナ情報項目を有する輸入帳票の画面にColinsの「CY搬出可否情報一覧」へリンクするボタンが追加されます。

帳票項目の「B/L番号」及び「コンテナ番号」の入力を条件に、ボタンクリックすることでCY搬出可否情報の検索結果が表示されます。

サイバーポート

The screenshot shows the 'UL070: 運送依頼書 (1)' form. In the '本船' (Main Ship) section, the 'B/L' field contains 'BL000001'. In the 'コンテナ' (Container) section, the 'コンテナ番号' (Container Number) field contains 'CON002'. A red dashed box highlights the 'コンテナ番号' field, and a callout box points to it with the text '検索条件: コンテナ番号'. Another red dashed box highlights the 'B/L' field, and a callout box points to it with the text '検索条件: B/L番号'. A button labeled 'CY搬出可否情報一覧' is highlighted with a red box.

検索条件: コンテナ番号

検索条件: B/L番号

Colins「CY搬出可否情報一覧」

注)入力されたコンテナ番号・BL番号が、Colins上に存在しないエラーが出ないにも関わらず、検索結果が表示されない場合は、CYが指定している検索条件に合っていない可能性があります。
 注)表示データが前日以前の場合がありますので、ご注意ください。
 前日以前のデータにつきましては、「取得日時」が赤文字表示されます。
 注)表示されているフリータイムについては、ターミナル側で把握している情報であり、フリータイムの確定値に関しては、各船会社へ直接お問い合わせ下さい。

搬出可否 △▽	コンテナ番号 △▽	B/L No. △▽	船名 △▽	ターミナル △▽	税関許可 △▽	DO △▽	フリータイム △▽	検査料 △▽	CY搬入 △▽
○	CON002	BL000001	SAMPLE	Terminal 1234	○	入手済	2022/03/07	-	搬入済

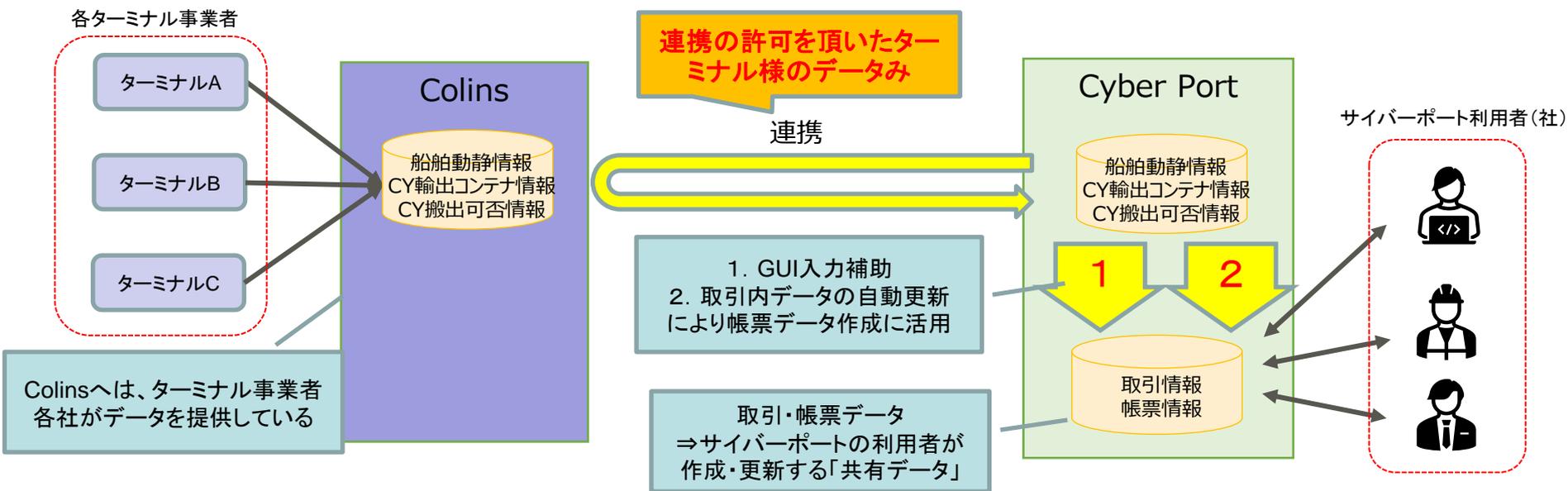
ボタンクリックで「CY搬出可否情報一覧」画面を表示

② Colins連携データの活用について

② Colins連携データの活用について

Colinsが保持する「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」がCyber Portに連携されるようになります。連携データは下記1、2の方法でCyber Portの帳票データ作成に活用できるようになります。

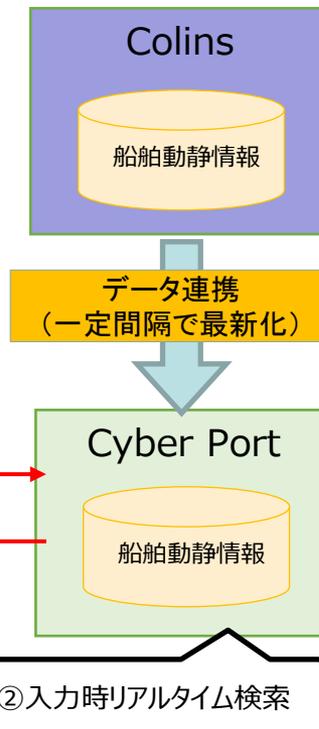
1. 帳票GUIでの入力補助
2. 取引内データの自動更新



②-1. 帳票GUIでの入力補助(1/2)

GUIでの帳票作成時、入力されたキー項目(コールサイン、本船名、航海番号など)に合致する連携データが存在する場合、自動的に連携データを参照し一部項目の値がセットされます。

例) ブッキング依頼書の場合



②-1. 帳票GUIでの入力補助(2/2)

GUIでの帳票入力時、「B/L番号」「Booking番号」から関連するコンテナ番号を選択する画面を表示し、コンテナ番号・属性の入力補助を行います。

例) 運送依頼書の場合

The screenshot shows a GUI for 'UL070 : DeliveryInstructions (1)'. It is divided into 'Vessel Information' and 'Container Information' sections. The 'Vessel Information' section has a 'Booking No.' field containing 'KYFA012'. The 'Container Information' section has a 'Container selection' button. A callout box labeled '①Booking番号 入力' points to the 'Booking No.' field. Another callout box labeled '②ボタンクリック' points to the 'Container selection' button. A third callout box labeled '③コンテナ単位の連携データを検索' points to a search window titled 'コンテナ選択(Colins情報から検索)'. This window shows a table of container information with columns for container number, length, height, type, and dates. The table contains three rows, with the first and third rows selected. A callout box labeled '④コンテナを選択しボタンクリック' points to a '選択' (Select) button at the bottom right of the search window. A final callout box labeled '⑤コンテナ番号、属性情報が貼り付けされる' points to the 'Container No.' field in the main GUI, which now contains 'CON00001'. On the right side, a flow diagram shows 'Colins' (CY輸出コンテナ情報) connected to 'Cyber Port' (CY輸出コンテナ情報) via 'データ連携 (一定間隔で最新化)'.

①Booking番号 入力

②ボタンクリック

③コンテナ単位の連携データを検索

④コンテナを選択しボタンクリック

⑤コンテナ番号、属性情報が貼り付けされる

コンテナ番号	長さ	高さ	タイプ	搬出場所コード	搬出日付	搬出時刻	搬入場所コード	搬入日付	搬入時刻
<input checked="" type="checkbox"/> CON00001	20ft	8ft	GP : General purpose/ドライ	CP9999	2021-09-23	10:08	CP9999	2021-09-23	10:08
<input type="checkbox"/> CON00002	20ft	8ft	GP : General purpose/ドライ	CP9999	2021-09-23	21:43	CP9999	2021-09-23	21:43
<input checked="" type="checkbox"/> CON00003	40ft	9ft	GP : General purpose/ドライ	CP9999	2021-09-23	22:40	CP9999	2021-09-23	22:40

②-2. 取引内データの自動更新

Colinsからデータが連携された際、Cyber Portの各取引データに対して最新の情報を自動で反映することができるようになります。

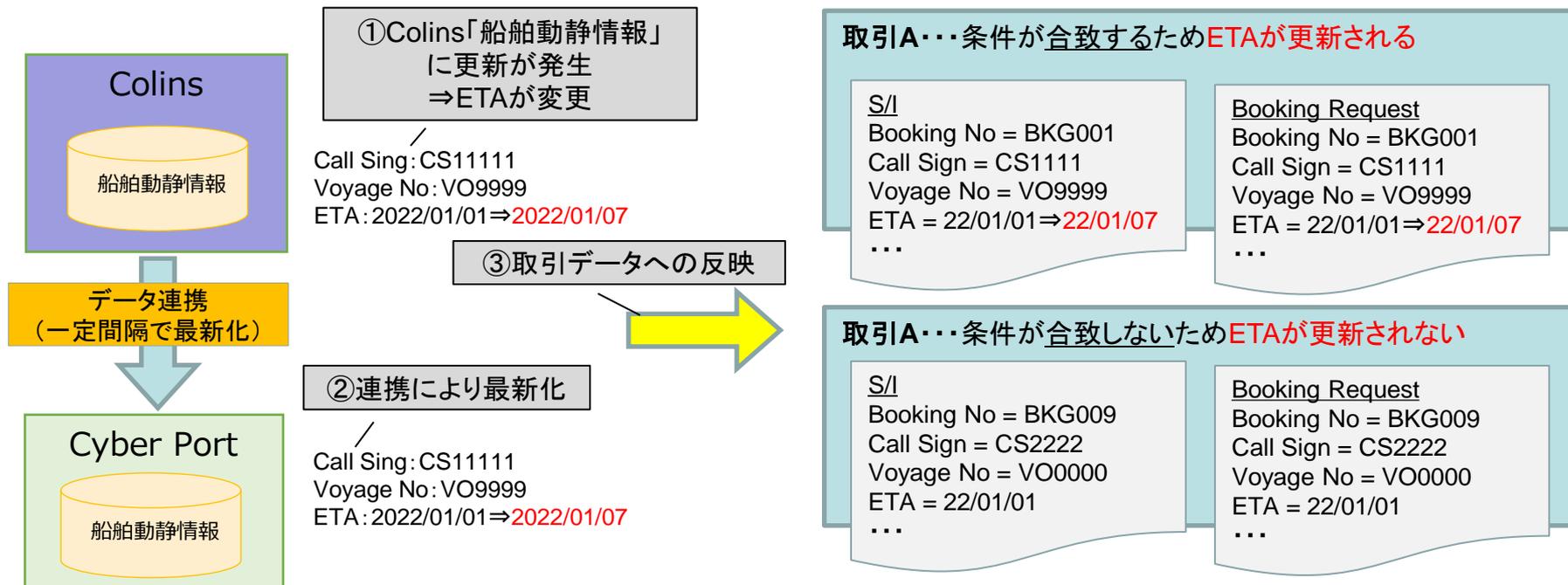
対象は取引内の各帳票間で共有されている「ルートドキュメント項目」となります。

Booking番号やB/L番号、コールサイン、本船名、航海番号などを条件にColinsでのデータ作成及び更新と連動してCY Cut/OpenやETA、ETDなどを更新します。

※自動更新処理の有効/無効は取引ごとに設定可能です。(デフォルトは無効)

取引に参加している組織であれば変更可能です。

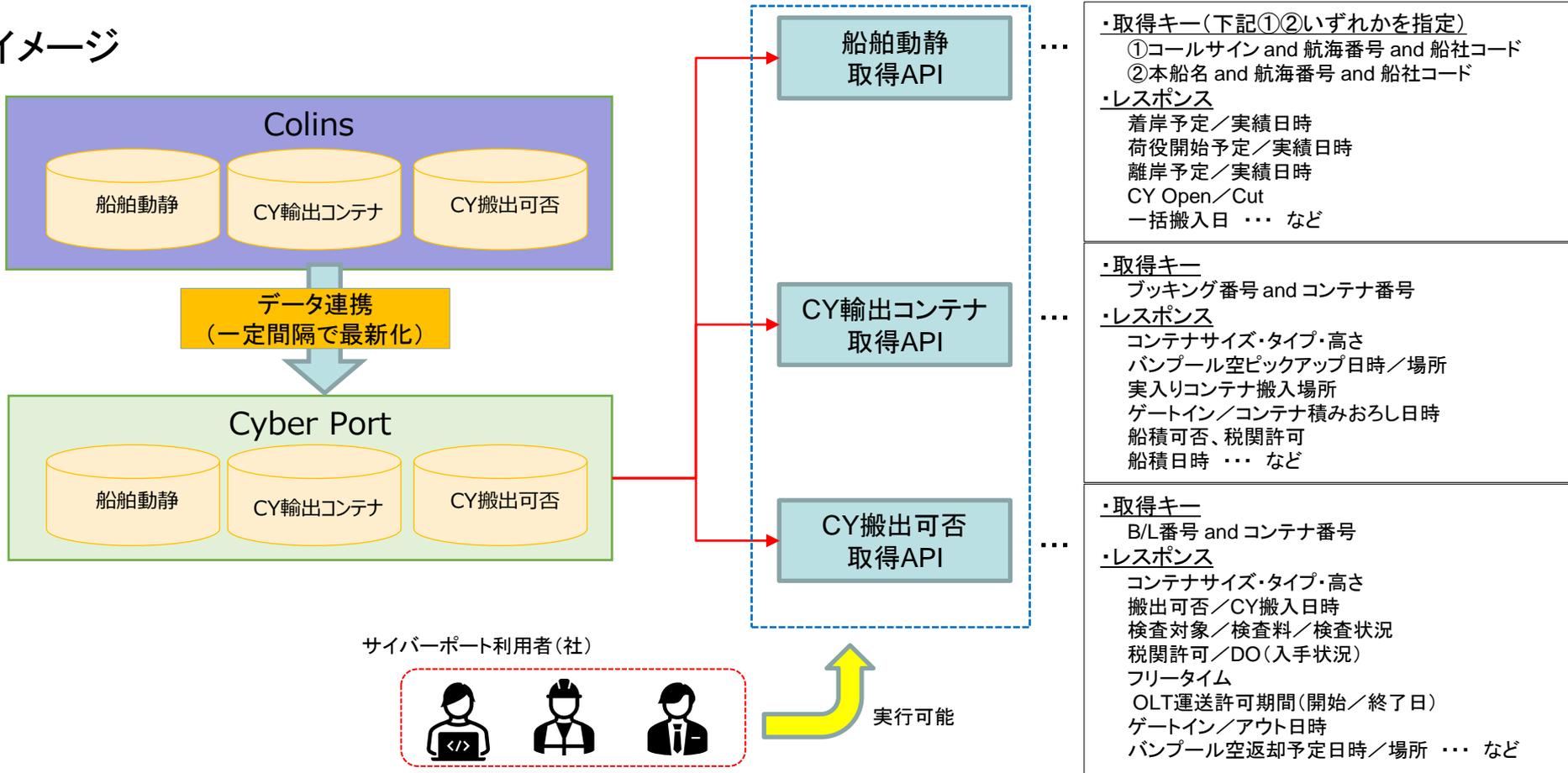
例) Colins「船舶動静情報」の更新に伴うCyber Port取引データの自動更新



②-3. 連携データ取得APIの提供

Colinsからサイバーポートへ連携された「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」のデータを取得するAPIを作成し、サイバーポート利用者に公開します。

イメージ



サイバーポートの利用者であれば、APIを活用することで、Colinsからサイバーポートへ連携される各種データを自社システムに直接取り込むことができます。